

第2回 福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会

次第

日時：平成30年8月10日（金）

午後2時30分～

午後4時00分（終了予定）

場所：市民交流プラザふくちやま

4階 会議室4-1

- 1 開会挨拶
- 2 ポッポランドのあり方について協議
 - （1）事務局情報提供
 - （2）副委員長選出
 - （3）協議
- 3 その他

福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会

(敬称略)

	名前	所属等	備考
1	足立 和義	福知山鉄道館ポッポランド運営委員会 館長 西日本鉄道OB会福知山地方本部 顧問	
2	足立 政人	福知山商店街連盟 会長	
3	井上 敬規	プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役	
4	榎原 傑	元京都北都信用金庫 常務理事 元福知山市土地開発公社 第三者委員	
5	梶村 誠悟	福知山商工会議所 専務理事	
6	杉岡 秀紀	公立大学法人福知山公立大学 准教授	
7	福島 慶太	一般社団法人福知山観光協会	
8	吉見 美晴	京都府行政書士会 常任理事 福知山市社会福祉協議会 評議員	
9	赤井 貴恵	市民公募委員	
10	本多 洋子	市民公募委員	
事務局	桐村 正典	福知山市産業政策部 部長	
	大西 孝治	福知山市産業政策部産業観光課	
	渡邊 清華	〃	
	伊庭 弥広	〃	

第1回 福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会
議事概要

1 日 時 平成30年7月4日(水)午後3時00分～午後4時30分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 4階 会議室4-1

3 参加者

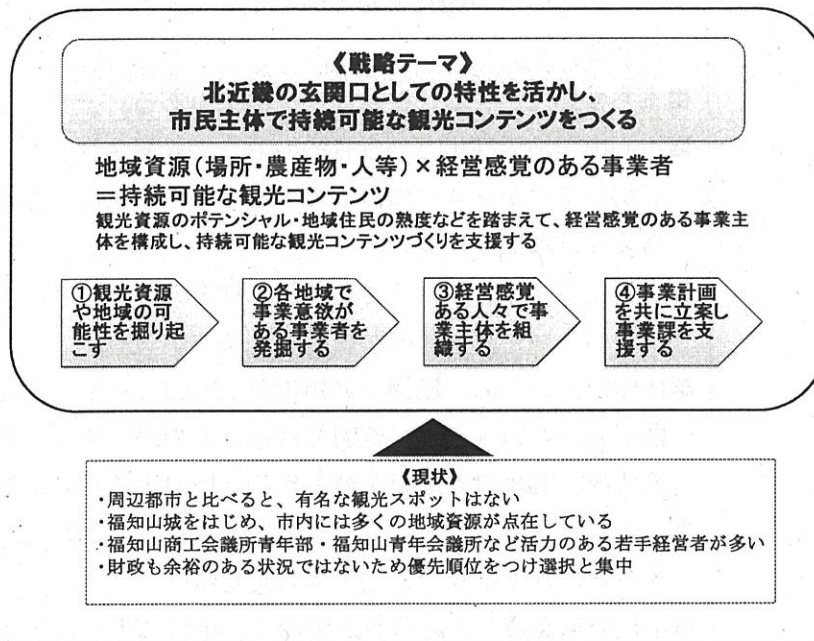
委 員	足立和義委員 (福知山鉄道館ポッポランド運営委員会 館長) 足立政人委員 (福知山商店街連盟 会長) 井上敬規委員 (プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役) 榎原傑委員 (元京都北都信用金庫 常務理事) 杉岡秀紀委員 (福知山公立大学 准教授) 吉見美晴委員 (京都府行政書士会 常任理事) 赤井貴恵委員 (市民公募) 本多洋子委員 (市民公募)
事務局 (福知山市)	大西担当課長、渡邊係長、谷主事、伊庭主事

4 会議概要

次 第	内 容
開会挨拶	大西担当課長
委員紹介	各委員より自己紹介。
情報提供	【資料1～3】により説明。
協 議	互選により杉岡秀紀委員が委員長に選出。 委員長より、第1回検討委員会では、施設内容や場所、資金調達等についての議論に入る前に、そもそも設置する意義があるのかを議論することを提案。⇒承認 議論の結果、設置の意義について確認ができたが、漫然と移転先を検討するのではなく、財政状況等を踏まえて、観光、子育て支援、生涯教育などの分野のソフトと絡めて検討していくことも併せて確認された。 次回以降の会議では主体や施設内容等について協議を行う。 (主な意見) ■財政的にも厳しいのが現状である。漫然と移転先を検討するのではなく、総合的に検討していく。 ■主体や施設内容、運営方法、資金調達等については、設置意義や目的などが確認された後の各論であるため、まず1回目の本日は、そもそ

	も意義はあるのかや、こういった目的を持たせるべきかという方向性を確認したい。 ■ 鉄道のまちのシンボルとして中心市街地の活性化を目的に設置された。福知山市が商都として栄えたという歴史や文化を守り伝えることは必要。 ■ まちの個性が失われかねない危機でもある。 ■ 中心市街地活性化という目的のもとで設置されたものの、この間で商店街が7つから4つに減っているという事実は、ちゃんと受け止めて考えなければいけない。 ■ 「〇〇のまち」がたくさんある。鉄道のまちというのがどういう位置づけのスローガンなのか確認する必要がある。 ■ 休館については、建物の老朽化が主要因であり、入館者の減少や採算性が低いということが要因ではないものの、そうした点についても財政状況、財政収支比率を踏まえると検討する必要がある。 ■ 子どもとして、親として、祖父母として、人生3回楽しめるポップランドというキャッチフレーズも使える。 ■ 市民公募委員への応募数が少なく、市民に本当に愛されている施設なのかということに疑問を感じてしまった。 ■ 福知山市は出生率がとても高いまちであり、子育てしやすいまちを謳っているものの、子育て世代の居場所が少ない。特に0～2歳の子とその親が安心して過ごし、つながることができる場所が重要。ポップランドもそうした層をターゲットにしてはどうか。 ■ 雨が降っているときに子どもを連れて行く場所がないので、ポップランドにはよく連れていっていた。
その 他	次回検討委員会日程を、平成30年8月10日（金）午後2時30分～午後4時00分に決定。

福知山市の観光施策（１）福知山観光地域づくりセンター



福知山市の観光施策（１）福知山観光地域づくりセンター

◇大原地区活性化PJ

大原神社リブランディング、ご祈祷後の会食プラン

◇上六人部地区農泊事業

古民家を生かした宿泊施設整備、上六人部を味わう体験プログラム

◇福知山城活性化PJ

本丸広場での飲食事業、ライトアップ、桔梗植栽、のぼり設置、城ガイド設置

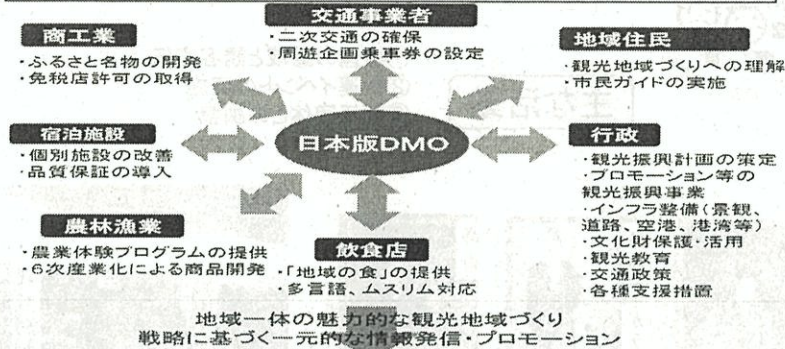
福知山市の観光施策(2)海・森の京都DMO

DMO＝観光まちづくり組織

(Destination Marketing / Management Organization)

多様な関係者との連携

内外の人材やノウハウを取り込みつつ、多様な関係者と連携



観光による地方創生

1

福知山市の観光施策(2)海・森の京都DMO

【「海の京都DMO」・「森の京都DMO」】



海の京都

京都府北部(宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、地域活性化と観光振興を目指して、さまざまな事業を実施。

平成27年、京都縦貫自動車道が全線開通し、アクセスが飛躍的に向上することから、平成27年度をターゲットイヤーとして、多くの観光客を呼び込み、全国有数の競争力ある観光圏となることを目指す。



森の京都

京都府中部地域(亀岡市・南丹市・京丹波町・福知山市・綾部市・京都市右京区京北)の「森の京都」には、日本の原風景が残る美山かやぶきの里や芦生の森をはじめとした豊かな自然、鮎や丹波くりや北山杉などの森の恵み、京都市中心部から約1時間と都会からも近く、人と人とのつながりのある豊かな暮らしが残る地域。

福知山市の観光施策 (3)大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会



目的

明智光秀を中心にその娘細川ガラシャ、盟友細川幽斎、ガラシャの夫細川忠興に焦点をあてたゆかりの地域の自然や歴史文化を全国に発信し、観光振興と地域の活性化を繋げる。

主な活動

- ①機運の醸成と誘客宣伝
- ②関連イベントの実施
- ③関係団体との調整



福知山市の観光施策 (4)その他



大江山観光開発協議会

- ・大江山連峰を域内に含む3市町（福知山市・宮津市・与謝野町）
- ・大江山一斉登山・パンフレット制作



北近畿広域観光連盟

- ・京都府の丹後、丹波地域、兵庫県の但馬地域、福井県の若狭地域の各行政や観光関連団体、交通業界、旅行会社等
- ・PR誌の発行、インターネットによる情報発信、観光キャラバン



大丹波観光推進委員会

- ・旧丹波国の7市町（福知山市、綾部市、亀岡市、南丹市、京丹波町、篠山市、丹波市）
- ・PRキャンペーン、インターネットでの情報発信

福知山市の観光施策（４）その他

情報発信

- HPやパンフによる情報発信、キャンペーン



観光ガイド養成

- 観光客の案内、おもてなし・リピーター確保



イベント支援

- お城まつり、ドッコイセまつり ...



観光友好都市交流

- 観光友好都市 静岡県小山町との交流

151. 福知山鉄道館ポッポランド利用状況

区分 年次	利 用 人 員	月間平均利用人員
	人	人
平成 24 年	10,450	870
25	10,339	861
26	11,886	990
27	16,509	1,375
28	16,052	1,337

資料 市産業振興課

152. 新町文化センター利用状況

区分 年次	開 館 日 数	使 用 件 数	利 用 人 員	1日平均利用人員
	日	件	人	人
平成 24 年	291	555	5,569	19.1
25	290	584	5,414	18.7
26	285	553	5,151	18.1
27	285	557	4,918	17.3
28	290	577	5,012	17.3

資料 市文化・スポーツ振興課

153. 郷土資料館(産業館)利用状況

区分 年次	開 館 日 数	入 館 者 数			
		延 人 員	1日平均人員	団 体	団 体 人 員
	日	人	人	団体	人
平成 24 年	313	33,560	107.2	43	2,040
25	308	35,351	114.8	52	2,619
26	308	36,289	117.8	53	2,418
27	310	38,274	123.5	24	1,039
28	308	41,293	134.1	28	1,074

資料 市文化・スポーツ振興課

154. 佐藤太清記念美術館利用状況

区分 年次	開 館 日 数	入 館 者 数			
		延 人 員	1日平均人員	団 体	団 体 人 員
	日	人	人	団体	人
平成 24 年	302	6,565	21.7	—	—
25	299	6,086	20.4	1	45
26	294	10,644	36.2	—	—
27	292	8,323	28.5	4	179
28	282	12,278	43.5	8	283

資料 市文化・スポーツ振興課

155. 丹波生活衣館利用状況

区分 年次	開館日数	入館者数			施設利用件数
		延人員	1日平均人員	団体数	
	日	人	人	団体	件
平成 24 年	295	9,046	30.6	25	91
25	303	9,537	31.5	33	104
26	294	8,756	29.8	43	118
27	298	7,244	24.3	20	112
28	293	7,447	25.4	32	99

資料 市文化・スポーツ振興課

156. 芦田均記念館利用状況

区分 年次	開館日数	入館者数			施設利用件数
		延人員	1日平均人員	団体数	
	日	人	人	団体	件
平成 24 年	306	2,241	7.3	5	31
25	311	2,865	9.2	18	23
26	307	2,867	9.3	18	36
27	308	2,654	8.6	13	29
28	309	3,417	11.1	9	44

資料 市文化・スポーツ振興課

157. 治水記念館利用状況

区分 年次	開館日数	入館者数			
		延人員	1日平均人員	団体	団体人員
	日	人	人	団体	人
平成 24 年	306	4,312	14.1	27	909
25	288	3,330	11.6	18	599
26	304	2,434	8.0	33	1037
27	304	2,763	9.1	20	653
28	307	3,250	10.6	41	1,124

資料 市文化・スポーツ振興課

158. 児童科学館利用状況

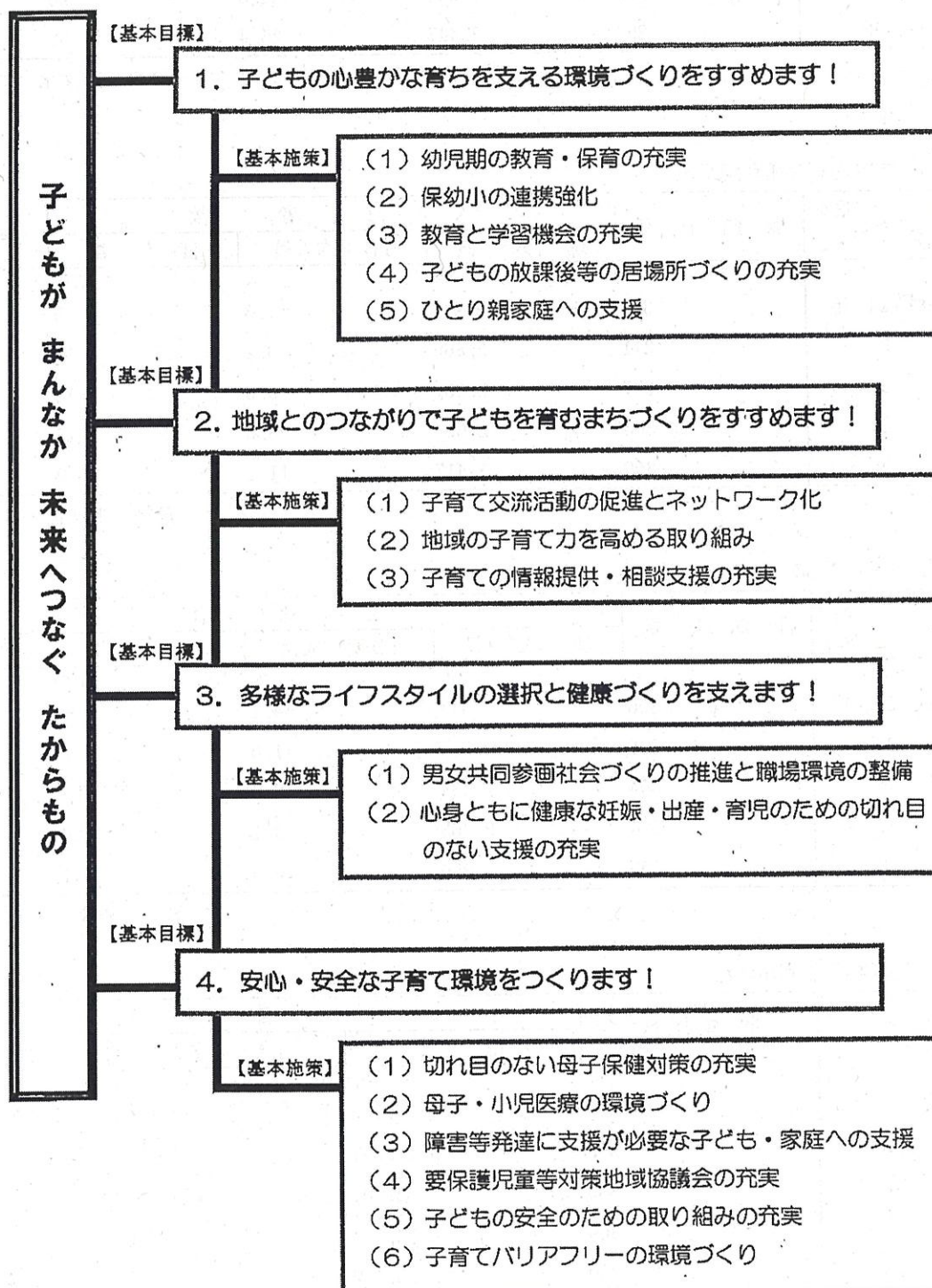
区分 年次	開館日数	入館者数		
		総数	4歳～中学生	大人
	日	人	人	人
平成 24 年	309	30,783	15,909	14,874
25	308	31,087	15,619	15,468
26	309	33,501	16,833	16,668
27	309	34,177	17,003	17,174
28	310	33,129	16,458	16,671

(注) 共通入場券による入館を含む。

資料 市都市計画課

3 計画の体系

【基本理念】



市内子育て支援施設一例

施設名称	場所	時間	利用料	開館日	概要	運営主体	入館者数(H29)
地域子育て支援広場							
すくすくひろば	堀	10:00～ 15:00	無料	月、火、水、金、 土 ※祝日除く	乳幼児を持つ親とその子どもを対象に、交流、相談、情報提供、講習の実施。	NPO法人おひさま 風の子サロン (市委託事業)	11,646人(行事利用 2,017人)
子育て支援センター							
あゆみ保育園	堀	-	無料	園庭開放(火・水・木) 育児相談(月～金)	就学前の子どもとその保護者、妊娠者の方を対象に、園庭開放、室内開放、育児相談、情報発信、行事企画実施等	あゆみ保育園 (市委託事業)	998人(平日利用 825人)
三和子育て支援センター	三和町千束	-	無料	園庭開放(水) 育児相談(月～金)	就学前の子どもとその保護者、妊娠者の方を対象に、園庭開放、育児相談、なかよしひろば、講座、情報発信等	市	1,408人(平日利用 181人)
夜久野子育て支援センター	夜久野町額田	-	無料	園庭開放(木) 育児相談(月～金) ふれあいひろば(月3回)	市内に居住する乳幼児と、その保護者の方を対象に、園庭開放、育児相談、ふれあいひろば、サークル支援活動等	市	2,378人(平日利用 1,555人)
大江子育て支援センター	大江町関	-	無料	園庭開放(火) 育児相談(月～金)	市内に居住する乳幼児と、その保護者の方を対象に、園庭開放、育児相談、講座、サークル支援活動等	市	2,900人(平日利用 825人)
児童館							
堀、前田、南佳屋野、丘、下六人部、庵我、額田、上夜久野、菟原、南有路	-	10:00～ 18:00	無料	火～土 ※祝日除く	市内在住18歳未満のお子さんを対象に、遊べるスペースや乳幼児教室、体験学習等を実施。	市	

【ヒアリング結果】本市子育てコンシェルジュ

乳幼児とその保護者の利用が多い。自動車で来られる方が多く、地区外からも交流や情報交換等をもとめて利用される方が多い。

日曜・祝日に利用できる施設がない。市外であれば宮津市、舞鶴市、豊岡市、西脇市の屋内型子育て支援施設の利用をよく聞く。

京都府内市町村の合計特殊出生率・増減率

	市町村	合計特殊出生率 (2008-2012)	順位	合計特殊出生率 (2003-2007)	順位	出生率 増減率	順位
中丹	福知山市	1.96	1	1.8	1	1.089	10
	舞鶴市	1.87	2	1.72	3	1.087	11
	綾部市	1.63	6	1.49	6	1.094	9
南丹	亀岡市	1.32	23	1.27	17	1.039	23
	南丹市	1.38	11	1.25	22	1.104	6
	京丹波町	1.4	10	1.36	9	1.029	25
丹後	宮津市	1.65	5	1.7	5	0.971	33
	京丹後市	1.73	3	1.77	2	0.977	32
	伊根町	1.51	8	1.36	9	1.11	4
	与謝野町	1.71	4	1.72	3	0.994	30
京都市	北区	1.09	30	1.04	31	1.048	18
	上京区	0.93	34	0.84	35	1.107	5
	左京区	1.1	29	1.00	32	1.1	7
	中京区	0.96	33	0.85	34	1.129	3
	東山区	0.77	36	0.75	36	1.027	26
	下京区	0.91	35	0.97	33	0.938	35
	南区	1.38	11	1.33	11	1.038	24
	右京区	1.21	27	1.16	27	1.043	21
	伏見区	1.32	23	1.25	22	1.056	16
	山科区	1.28	25	1.20	25	1.067	14
	西京区	1.33	20	1.27	17	1.047	19
乙訓	向日市	1.37	15	1.31	15	1.046	4
	長岡京市	1.38	11	1.27	17	1.087	6
	大山崎町	1.38	11	1.27	17	1.087	3
学研都市	京田辺市	1.35	18	1.23	24	1.098	5
	木津川市	1.54	7	1.33	11	1.158	1
	精華町	1.33	20	1.38	8	0.964	2
相楽東部	笠置町	1.09	30	1.11	29	0.982	36
	和束町	1.18	28	1.16	27	1.017	33
	南山城村	1.05	32	1.17	26	0.897	35
山城北	宇治市	1.35	18	1.27	17	1.063	8
	城陽市	1.27	26	1.11	29	1.144	17
	八幡市	1.37	15	1.30	16	1.054	9
	久御山町	1.47	9	1.41	7	1.043	11
	井手町	1.33	20	1.33	11	1.000	22
	宇治田原町	1.36	17	1.33	11	1.023	20

参照: 京都府内市町村における合計特殊出生率と社会指標の関係

子育て支援施設事例

【公設民営】子育て支援センター にっこりあ（宮津市福祉・教育総合プラザ）

都 道 府 県	京都府
市 町 村	宮津市
施 設 名 称	子育て支援センター にっこりあ
設 置 目 的	就学前の子どもを持つ子育て世帯のくらしをより豊かなものにする。図書館、市健康福祉部、教育委員会事務局が同施設内に移転し、福祉・教育のワンストップ化を図る。
施 設 内 容	アクティブエリア（ボルダリングなど）、ロールプレイエリア（おままごとなどの見立て遊び）、ベビーエリア（ベビー向け遊具）
開 館 時 間	午前9時～午後4時30分
休 館 日	木曜日、年末年始
入 場 料	無料 ※未就学児対象（日曜日のみ小学4年生まで） なお、いずれも保護者の同伴が必要
駐 車 場	1000台
運 営 方 針	子育て専門職を配置して、子育てのさまざまな相談に応じるほか、「季節の行事や工作」「絵本の読み聞かせ」や「リズム遊び」なども実施。子育て親子の交流を図る。
達 成 目 標	（平成29年11月27日から平成30年2月18日までで10,302人来場）市外来館者約65%
運 営 方 法	社会福祉法人城東福祉会が運営委託。市が建物フロアを無償借受し、借受部分の都市計画税及び固定資産税を非課税とする。
資 金 調 達	地方創生拠点整備交付金活用 総事業費 10億200万円（宮津市福祉・教育プラザ整備） ※新築の場合は14億円、複合化せずにそれぞれ単独整備の場合は18億円と試算
そ の 他	宮津市中心市街地沿岸地区に位置する民間商業施設（宮津シーサイドマートミップル）の3・4階、約8000㎡に、福祉・子育て関連施設・窓口等を集約・複合化。



【公設民営】子育て交流施設 あそびあむ

都 道 府 県	京都府
市 町 村	舞鶴市
施 設 名 称	子育て交流施設 あそびあむ
設 置 目 的	「楽しく遊ぶ」「しっかり遊ぶ」「いろいろな人と遊ぶ」「安心して遊ぶ」を基本方針に、天候に左右されず子どもたちがのびのびと遊べる施設、子どもと多世代の大人がふれあい、交流し、共に遊びを体験することができる施設、そして、子どもの安全面に配慮し、安心して遊ぶことのできる施設を目的に設置。
施 設 内 容	遊具、土場、木の玉プール、木のおもちゃコーナー、絵本コーナー、授乳室、交流室があるほか、飲食可能な大屋根ゾーンや多目的利用可能な広場もある。 うみべのもり保育所、総合文化会館と併設。
開 館 時 間	午前9時30分～午後5時00分
休 館 日	木曜日
入 場 料	無料
駐 車 場	183台
運 営 方 針	「楽しく遊ぶ」「しっかり遊ぶ」「いろいろな人と遊ぶ」「安心して遊ぶ」を基本方針に、常設の遊具のほか特別企画イベントなども実施している。
達 成 目 標	-
運 営 方 法	舞鶴あそび隊(子育て中の親、祖父母、大工、保育士、教諭、市職員、学生、子どもが好きな人などが参加する市民グループ)が、あそびについて考えながらあそびの環境やプログラムを検討・実践。
資 金 調 達	子育て交流施設整備事業費 7億7,692万円(H26予算+H25予算) 子育て交流施設管理運営経費 18,866千円(H30予算)
そ の 他	施設面積 約1,307㎡ 広場面積 約5,000㎡



福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討に係るアンケート

結果まとめ

対 象：市立小学校 20 校

回 答：10 校

問 1 学校教育の重点「豊かな人間性と社会性を育てる教育の推進」に係り、本市郷土の自然、歴史、先人などに関する学習の取組の中で、平成29年度に、鉄道のまちの歴史を学習された場合は、お答えください。

学 年	校数	学習内容・方法
例) 3 年生		例) 福知山鉄道館ポッポランド1号館及び2号館を訪問見学した。その後、学級内で班ごとに、歴史等について調べて展示発表を行った。
1 年生		
2 年生		
3 年生	3 校	■社会科の地域学習において、「昔の暮らし」について学習する際、少しだけ「鉄道のまち」として福知山西駅や北丹鉄道等の話題について触れ、学習した。 ■社会科の学習で、福知山市内の交通（鉄道・道路等）について学習した。 ■「のびゆく福知山」副読本で学習した。
4 年生		
5 年生		
6 年生		

問 2 施設見学等での訪問先の選定方法はどのように行われていますか。

- 教育委員会発行「のびゆく福知山市」（3・4 年生社会科副教材）には、あまり「鉄道のまち」としては取り上げられていないため、関連施設等の見学を行うことは少ないです。
- ブロック内での合同学習の場合は、ブロック内で協議し、決定している。
- 学年毎に、社会、理科、総合的な学習の時間の学習内容に合わせて見学先、訪問先を決めています。
- 各学年の学習内容と関連させて決定している。
- 学校に近く、徒歩で行ける。校区内に関わるテーマ設定をする。
- 学校全体で学年毎に学習テーマを決めて選定している。
- 教科等、各学年の学習内容に応じて、選定している。

問3 「豊かな人間性と社会性を育てる教育の推進」に係り、鉄道のまちの歴史を学ぶ上で必要だと思うことは何ですか (該当する番号すべてに○をつけてください。)

- | | | |
|---|---------------------|---|
| 1 | イベント | 5 |
| 2 | 展示施設 | 7 |
| 3 | 巡回展示 | 1 |
| 4 | 学習教材 | 8 |
| 5 | 地域の人（歴史・文化を知る人）との交流 | 8 |
| 6 | その他 | |

由良川の水運とのかかわりがあるのであれば、それがわかる資料があるとよいと思います。

鉄道施設事例

【民設民営】

都道府県	京都府
市町村	与謝野町
施設名称	加悦SL広場
施設内容	駅舎・展示室/場内周遊ミニ列車/機関車トーマスバッテリーカー/機関庫/転車台/カフェ/パン屋/御土産屋/親水公園
開館時間	午前10時～午後5時(カフェやパン屋は別)
休館日	年中無休
入場料	大人:中学生以上 400円、小人:3歳以上 200円((平成29年の入館者数約12,000人)家族連れが多い。)
駐車場	普通車50台(無料)、大型バス10台(無料)
設置目的	地場産業である「ちりめん」の輸送、国際重工業の礎となる鉾土の輸送、地域の人々の通勤・通学等々、時代時代の役割を担ってきた加悦鉄道の歴史を伝える重要な資料等の保存・継承を目的として設置。
運営方針	-
達成目標	-
運営方法	宮津海陸運輸株式会社が設置・管理。補助金・交付金等無し。
資金調達	入館料
その他	平成8年、加悦庁舎横にあった駅舎を移転・建設。 平成11年、産業考古学会より「保存功労賞」を授賞 平成12年、「推薦産業遺産」に認定、鉄道友の会より「グローリア賞」受賞 平成15年、加悦鉄道両群11両が与謝野町文化財に認定

ショップTaDa蒸気屋:食堂車を改装し、タイピン、バッジのほか、地元特産品や軽食。

カフェ蒸気屋:鉄道車輛を改装したカフェ。

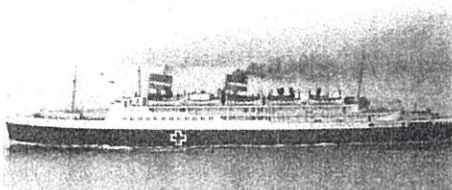
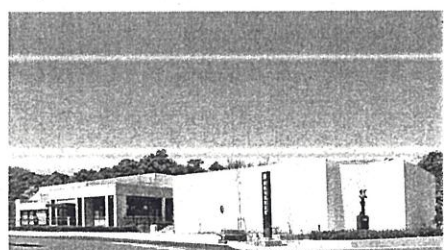
パン屋:北近畿唯一、スイス生まれのヒーシュタント社が製造したパンを販売。



歴史継承施設事例

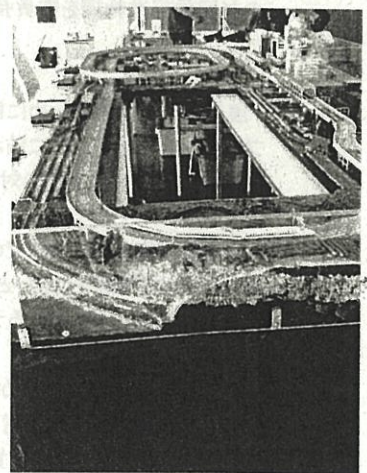
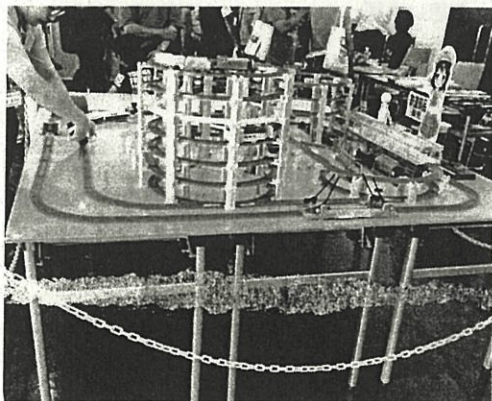
【公設公営】

都道府県	京都府
市町村	舞鶴市
施設名称	舞鶴引揚記念館
設置目的	戦争を知らない世代が多くなり、引き揚げの歴史も徐々に風化しつつある今、歴史を知りよりよい未来を創造するための拠点とすることを目的とする。
展示内容	シベリア抑留生活や岸壁の母、引揚げに功績を残された方々を紹介する常設展示。常設展示の重要部分を掘り下げて展示する企画展示。「語り部」による口頭伝承も行われている。 所蔵資料数 11,209点(衣類、生活用品、写真、絵画、証明書類、新聞類、書籍等) 毎年、引揚者の御遺族の方々から寄贈が行われている。
開館時間	午前9時00分～午後5時00分
休館日	毎月第3木曜日(8月と祝日を除く)、年末年始
入場料	大人300円、学生150円 ※市内在住か在学の学生は無料。団体割引あり。
駐車場	無料
運営方針	市予算だけでなく、寄付、寄贈により市民理解や協力を得ながら、共に守りつないでいく運営を行う。
達成目標	交流人口300万人
運営方法	市直営とし、学芸員を配置。出張講座や教育旅行の提案を行っている。
資金調達	市の予算及び寄付。今後、企業版ふるさと納税を活用予定。
その他	平成27年に所蔵資料等が「ユネスコ世界記憶遺産」登録。平成30年4月に開館30周年となり、市直営の施設としてリニューアル。 整備費 78,500千円(平成29年度予算)、 史実継承事業費 5,284千円(平成30年度予算) 管理運営経費 35,164千円(平成30年度予算) 延床面積 1,348㎡ 累計入館者数 414万9,553人(平成30年4月現在)



その他事例

都 道 府 県	京都府
市 町 村	舞鶴市
団 体 名	北近畿鉄道ビジネス株式会社
事 業 内 容	■赤レンガ鉄道フェスタ2018 日時:平成30年4月28日 内容:巨大タワー・大ジオラマ、Nゲージデモ運転 ■西舞鶴ミニ鉄道フェスティバル 日時:平成30年7月15日 内容:Nゲージ運転体験、写真展、鉄道タレントサイン会 ■鉄道パブ EXPRESS丹後 日時:平成30年11月18日 内容:レンタル店舗にて、時刻表や鉄道雑誌を見ながらくつろぐことができるカフェの出店 ■キッズ鉄カフェ in FLA+ 日時:11月18日 内容:レンタル店舗にて、鉄道おもちゃを設置したカフェを出店。 ■おもちゃ列車 内容:京都丹後鉄道と連携し、お座敷列車の中に鉄道おもちゃを設置し運行するイベントを実施。
そ の 他	



両丹日日新聞2018年7月 5日のニュース

■ 休館中の鉄道館検討委 協議は「再開前提」に



3月末に休館した京都府福知山市下新町の「福知山鉄道館ポツポランド1号館」の在り方を考える第1回検討委員会が、駅前町の市民交流プラザで4日に開かれた。今後の協議の基本的な方向性を定めるために、委員が思いや意見を出し合った結果、「設置場所を探して再開」を前提に協議を進めることに決まった。

1号館は市が管理する施設。鉄道のまちのシンボリックな存在とされていたが、建物の老朽化や耐震性から、来館者の安全を確保できないとの理由で、市が更新時期の3月末で建物の賃貸契約を終了。移転先を探したが見つからず、休館を余儀なくされ、今後の在り方を検討委員会に委ねることになった。

委員会は鉄道館の足立和義館長(西日本鉄道OB会福知山地方本部)、観光、地元商店街関係者、有識者のほか、公募で選んだ市民2人の計10人で組織。初会合では福知山公立大学の杉岡秀紀准教授を委員長に選任後、各委員がそれぞれの立場から鉄道館への思いを語った。

展示物を見学するために観光客や鉄道マニア、校外学習の小学生らが来館するだけでなく、プラレールで遊ぶために訪れる子育て世代も多かったことから、観光、子育て支援、教育面といった多方面から今後の対策を練る必要性が指摘された。

入館者が増えている中で休館に「入館者の減少や採算が合わないといった理由での休館ではない。今再開をしないと難しくなる」といった意見や「鉄道館の存在を知らない市民もいる。市民ニーズはどうなのだろうか」といった声も聞かれた。

事務局の市産業観光課からは、入館者の推移▽移転が想定できる公共、民間施設▽公設公営、公設民営、民設民営の運営形態別で予想される運営経費▽全国各地の主な鉄道施設の運営事例▽市内の鉄道資源などについて説明があった。

次回は8月10日に第2回委員会を開催予定。今秋までに複数回、委員会を開いて結論を出す。

写真＝休館中の福知山鉄道館ポツポランド1号館への思いを出し合う委員

毎日新聞

拡充、再開の声多く

ポッポランド 検討委初会合 福知山

建物の老朽化で3月末に休館した「福知山鉄道館ポッポランド」の今後の在り方を検討する委員会の初会合が4日、福知山市内で開かれ、設置目的の議論で委員からはより拡充して再開を求める意見が多く出された。運営の主体や方法、資金調達などは今後の議論で求め、今秋をめどに委員会としての意見を市に提言する。

ポッポランドは、西日本鉄道OB会福知山地方本部が2014年に運営を引き継いで順調に入館者数を伸ばしていたが、適当な移転先が見つからず休館。これを機に市は運営を含めた在り方そのものを協議するため公検討委員会を設けた。

初会合で出席した委員から明確な再開反対の意見は無く、委員長杉岡秀紀・福知山公立大准教授が「存続させることで皆と考えていきたい」との方向性を示した。また、各地にある鉄道施設の運営事例も報告され、「市民にもっと目を向けた運営を」「子育て世代が楽しめる施設に」との意見も出された。次回会合は8月10日の予定。【佐藤孝治】

掲載写真
販売します
電話06-6346-0300
紙面編集 堂坂 麻耶

読売新聞

ポッポランド 再開業へ議論

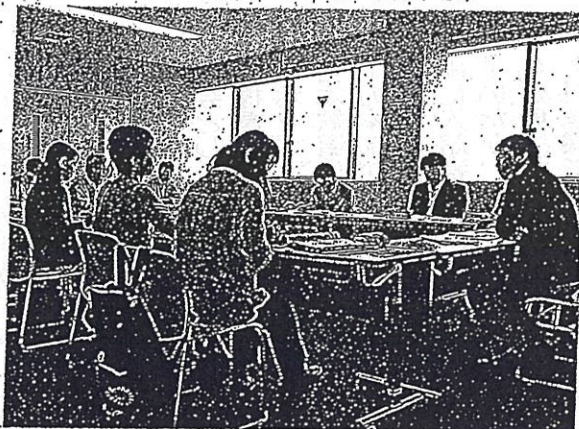
秋めどに集約

移転先を確保できず、3月末で休館した福知山鉄道館ポッポランド(福知山市)のあり方を検討する委員会が4日、市内で初めて開かれた。秋をめどに再開業の場所や事業内容、運営方法に関する議論をまとめ、市に提言する。

委員は、休館前に市から運営を受託していた西日本鉄道OB会福知山地方本部のほか、福知山商工会議所、福知山商店街連盟などの関係者、市民公募(応募者8人)の2人の計10人で構成する。

この日は、委員長に福知山公立大の杉岡秀紀准教授を選任。市側が、移転先として検討できる廃校や民間ビルなどの状況、想定される運営費について説明した。委員からは、早期の再開や、子育て世代がゆつくり楽しめる施設などの要望があった。

休館中の福知山鉄道館ポップランドの
今後を話し合う委員たち(福知山市駅
前町・市民交流プラザふくちやま)



福知山のポップランド

検討委が再開確認

初会合

4月から休館している、「福知山鉄道館ポップランド」の今後の在り方を検討する委員会、初会合が4日、福知山市駅前町の市民交流プラザふくちやまで開催された。委員が同館の意義や課題を話し合

中。検討委は、公募で選ばれた市民や同館の足立和義館長、地元商店街や観光関係者ら10人で構成。運営体制や施設内容、資金調達法などを話し合う。

元経済や観光振興、子育て世代の居場所づくりといった同館の意義を踏まえ、再開を目指す検討委の方向性を確認した。一方、市のまちづくり施策との整合性や財政面、全世代が楽しめる施設づくりなどの課題も指摘された。次回の会合は8月10日予定。秋までに意見をまとめ、市に提言を行う。(井上真央)

敦賀赤レンガ倉庫内「ジオラマ館」

2015年10月に再整備されオープン。明治後期～昭和初期の敦賀の街並みが再現されている。



敦賀市は明治から昭和初期にかけて、ロシヤ軍用として本館（ロビー）へと繋がる回廊（回廊）として整備しました。その裏面である敦賀赤レンガ倉庫は、1906年、外国人船員の待合室として右側（表）の倉庫として建設され、途中、四角形（回廊）として改築された。戦後（戦後）でも倉庫のレンガが残り、途中、2009年1月には、本館・回廊・倉庫が国の登録有形文化財に指定されました。



倉庫の内部 赤レンガがcable

アクセス



敦賀赤レンガ倉庫
〒914-0072 福井県敦賀市金ヶ崎町4-1
TEL=0770-47-6612
FAX=0770-47-6613
HP=http://tsuruga-akarenga.jp

敦賀赤レンガ倉庫

---ノスタルジーと出会う場所---



ジオラマ館

全長27.5m、通行高7.5mを誇る日本最大級の敷道と津のジオラマです。かつては、外国との玄関口として役割を果たしていた敦賀。明治後期から昭和初期にかけての敦賀の街並が、今ここに。

ジオラマショー（10分間）
30分毎の上映（9:30～17:00）



※ノスタルジックな映像に合わせて、乗組員が走行します。



ショータイム（15分間）

敦賀浪漫



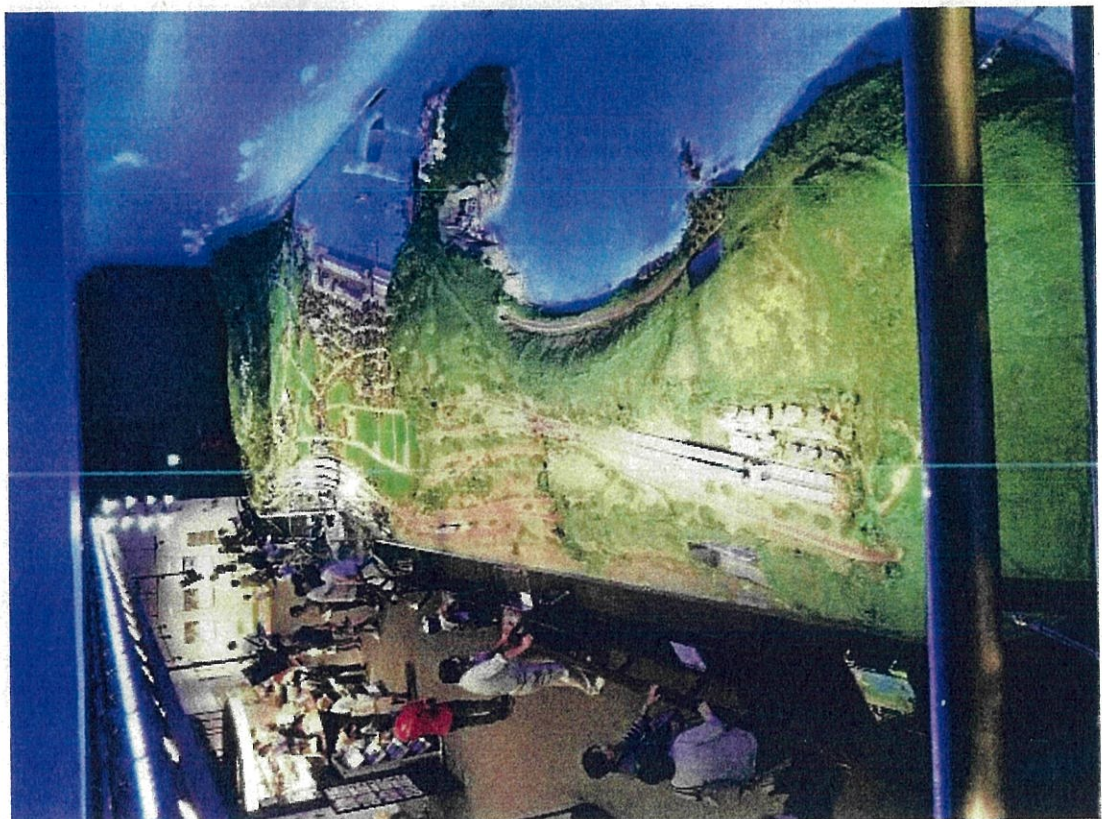
模型の運転体験ができます

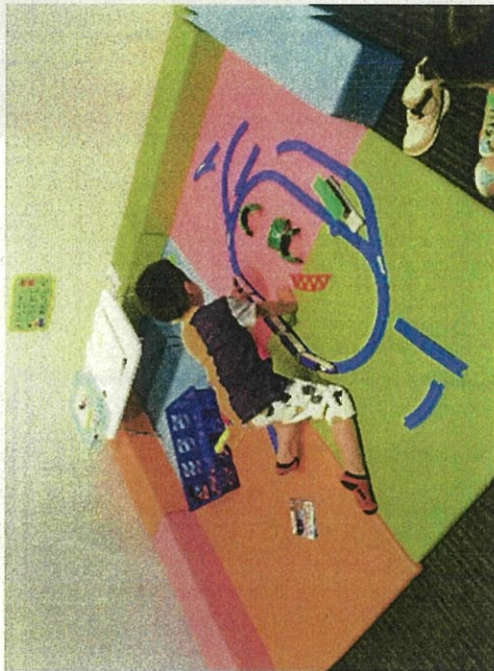
※1回（3分間）100円

ジオラマ館 入館料
9:30～17:30（最終入館17:00）
水曜日（祝日の場合その翌日）
年末年始（12月30日～翌年1月2日）
（3歳未満は無料）

大人 400円
小学生以下 200円
団体（20人以上）
大人 320円
小学生以下 160円







やなせたかし記念館(アンパンマンミュージアム)
アンパンマンの作者であるやなせたかしの故郷に建てられた。
アンパンマンミュージアムと詩とメルヘン絵本館が併設。



